

地域活性化の拠点施設

八川 馬木

コミュニティセンター竣工

八川・馬木の両地区で建設が進められていたコミュニティセンターが完成し、六月四日に八川、十一日に馬木でそれぞれ竣工式が行われました。

両コミュニティセンターは、

これまでの施設が馬木は昭和四十二年、八川が昭和四十五年に建設されており、狭隘で老朽化したことに伴い、昨年の町政座談会等を通じて地元から強く改築要望が出されてきました。



▶ 定礎式の様子（八川）

竣工した両施設には、百人程度の会議に対応できる広い交流体験室、農産物の調理実習室、休憩室、和室等が設けられており、地域コミュニティの総合的な機能を備えており、総事業費は二カ所合せて約三億五千二百万円です。両施設とも鉄筋コンクリート造平屋建です。

建設には国の「元氣な地域づくり交付金事業（五十割補助）」と、残額の七十割を国が負担する過疎債を導入しました。竣工式には、糸原県議や県担当者をはじめ多くの来賓、地元関係者等が出席し、テープカット等を行い施設の完成を祝いました。



▲ 竣工を祝いテープカット（馬木）

十五年の歳月を掛け

大谷地区農免農道竣工

平成三年から整備が進められてきた大谷地区農免農道が完成し、六月十日、関係者約六十人が出席し竣工式が行われました。

による記念碑の除幕等が行われ竣工を祝いました。

大谷地区農免農道は、大谷地区の農道下横田出雲三成停車場線と小馬木地区の主要地方道玉湯吾妻山線をつなぐ道路で、道路延長二千九百十、道路幅員は五・五メートルです。



▲ 記念碑を囲み竣工を祝う関係者

また清水新橋、紅葉橋の橋梁整備も行われました。総事業費は約十六億三千三百万円、平成三年度から十五年の歳月を掛け竣工の日を迎えました。

式典では、岩田町長をはじめ代表者により澄田知事揮毫の大谷農道の竣工により今後、地域の生活基盤の充実はもとより、水稲、野菜、畜産など農業環境全般の向上、経営の安定化が図られます。